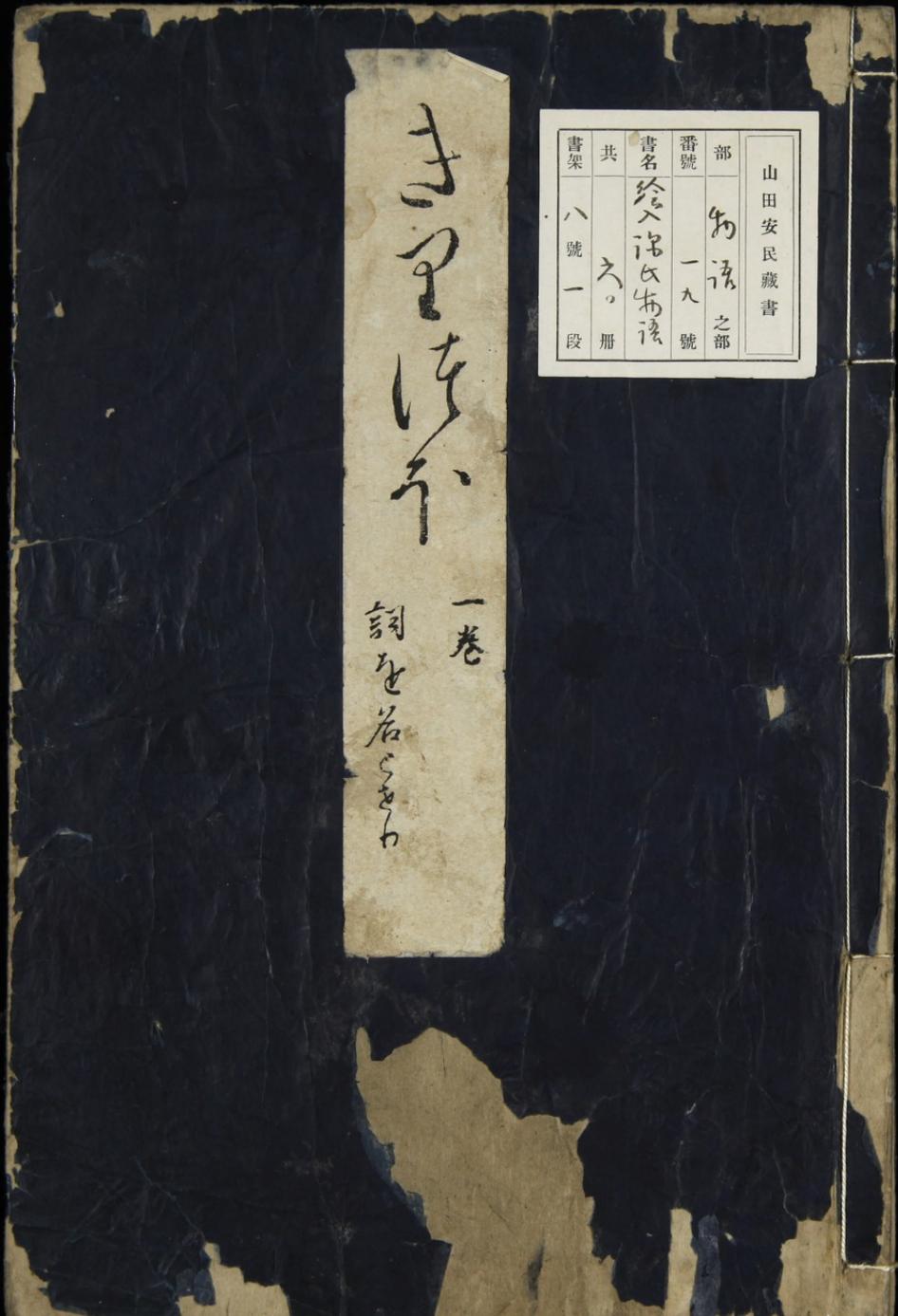


絵入源氏物語

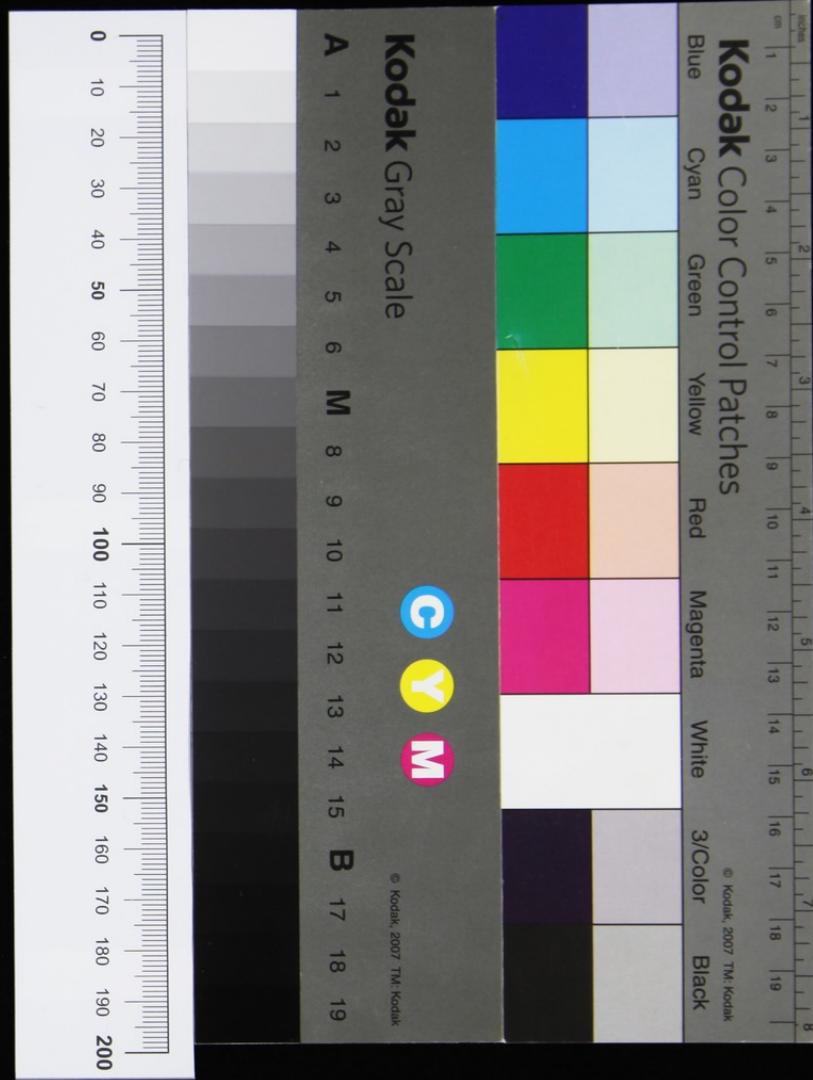
巻一 きりつぼ

楣山女学園大学デジタルライブラリー

楣山女学園大学図書館



山田安民藏書
物語之部
番號一九號
書名絵入源氏物語
共六冊
書架八號一段



源氏物語 十二
相應文

いづれの内時よりぬは更衣ありて
相應文
すれてとくに手すりありて、さうこれ
よ、かとくめをねらひおれりて、さうこれ
下りられしむきうち下りてやすく、あこよ
のあづへよつて、人のころりて、さう
らうをかづまりるやうりえじ、あがく
なりゆふよめいばそげるうと、うなじく
あずあくれあくのよみくして、人のころ
りとくにあくをあくせたうにまく



ゆべされかてすすりあらうだらめうへんなども
 あひきめをそばのくじゆくばゆき人のれを
 すりあらうすまかうとせよとせよとせよ
 えられけりされとやうくわのれをくい
 うらうだらじのあてもやうくわなりて楊^{ヤシ}
 姫のたみとひきそでけへうなうゆくよ
 おれどかうけくわに心^ハの
 たゞひきそとせよとせよとせよとせよ
 おもなうてばかのうかんづのうのうあ
 ふうとせよとせよとせよとせよとせよ
 やううはうじよとせよとせよとせよとせよ
 とよおとよとよとよとよとよとよとよとよ

相聲^{シテ}卷^ス

とれしろくがれどとあくうとく
 てくほしげたりがくのせよとせよとせよ
 うりんせよとくのうなうだまれふの^{セイ}み
 まへしられぬ^{セイ}とくとくとくとくとくとく
 いきまゆりくとてだ^{セイ}続^スよとくとくとくとくとくとくとく
 のたうらうだりの^{セイ}ハなだにのめのねば
 うてとくとくとくとくとくとくとくとくとく
 せよとくとくとくとくとくとくとくとくとく
 びのぐもあううううれがくのやんとくわく
 はくひよとみとばくとくとくのよのよ

うづきのすくはるかに
てのくへまづへとくふじにむるあらがうる
わゆいやじまくはるかにうけしとひり
くまはるをせうほりよぶとくはれあらびの
くりふくよくよくあくはれあくは
くわうのくみよあくはれあくは
くうずへてやうてくみよあくは
くくへよくよくたまくは
くうくはくよくよくたまくは
くうくはくよくよくたまくは

朱雀院 弘徽院
みこのめにハおほくうじりハナリタマト
まいりみてやじとれきれひなげでなまづ
みこだらうなどもおりまをばばんのれいみを
のえぞなまをわづくくはぐくうせひえを
きげくえがく
くもかげとばたのミタマチナム。と
くめのすをゆきめのふ人をおほく。づかはよ
くくよれくうくはりうくはりうてうきくうりよ
るもひとどもおほつがねはうきうつがうり。のま
のぬうごとすざをまつ。ひまくまうされまく
だらう。人のほくうをはく。あしげよてく
とくとくまうのびりすにじうまううちまう



即ちくはすはりわる處ぞうそんもうち。
ばやもよわとちいばとくうせ人の人のみ
のれとてぐれとくもむかへどもあら。又あ
はえさぬめたのととくつみじゆく
ひとあくとて、じとくわざとすまかね
うれすれすれすれすれすれすれすれす
ままればじとくとくとくとくとくとくと
た後じてほ涼殿よとくとくとくとくと
のうしとくとくとくとくとくとくとくと
まじすくとくとくとくとくとくとくとく

おれにまつてはまづくとくらむぬでてど
 一のまよしてまわりてとくばくれば
 おもとめとめとめとてて。まよせき
 それよつけとせのまよてのくわゆれとく
ほ氏みみのまよけとておまくふたまくひじあり
 ごくめづくまよてまよとえくねまくへく
 ざまのまよくくがくくへせよりとおこすも
 のなまくまくとあくまくとくまくとく
 まよれとれとれとれとれとれとれとれと
 わくわくしておうでたましとくまくとく
 まよせとまよせとまよせとまよせと
 おれがめなれておれがまよみのまよ
 すよ。國衣ごとまよりとくらふ六日はほと
 りようなればまよみるくまよくまよ
 まよでまよとまよりくまよくまよくまよ
 あくまくとまよりくまよくまよくまよ
 おれがめなれておれがまよみのまよ
 おれがめなれておれがまよみのまよ
 おれがめなれておれがまよみのまよ

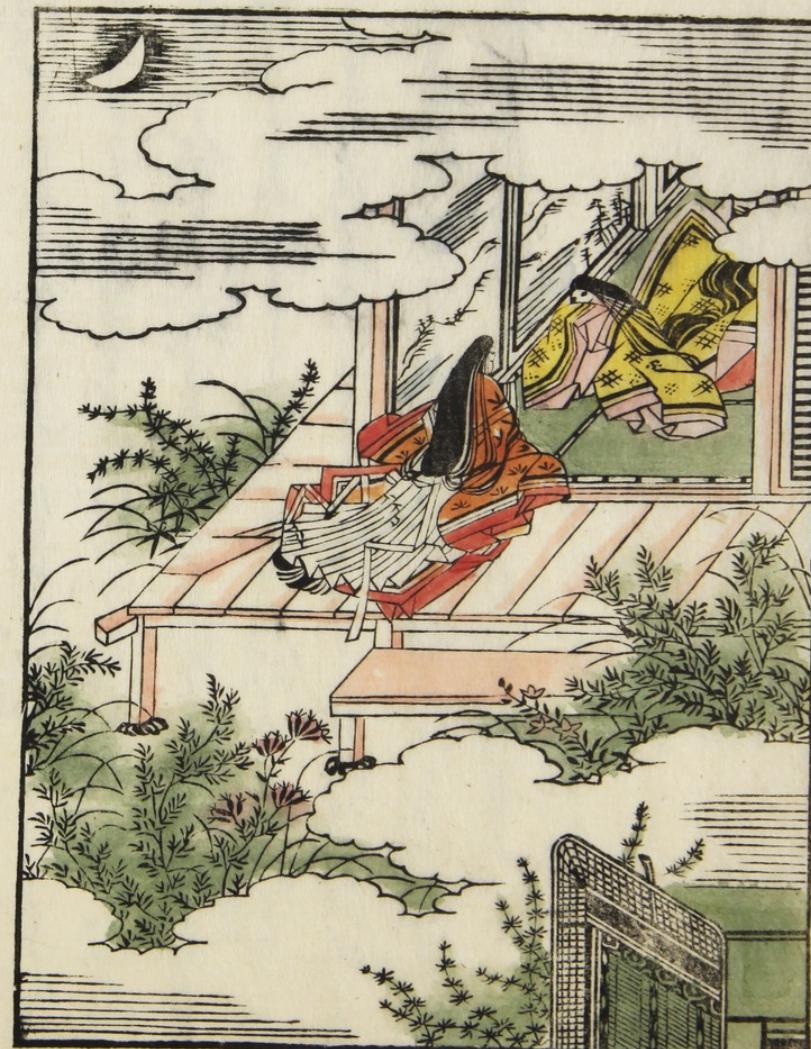
よみてひりつてあはへうとひくよすよまう
 ひりまわはしめられずうりのとく
 くらううのと風にれどけえま
 びまうなむいだりあはてうなむく
 とかれのうそうしてうればくまにく
 あはくまほうてうまのきくなどの
 うりせてもえりをきてうるまをせえ
 すうううあくみらうむくわうだんと
 ちううをうけをうりとうけすうへえ
 うかうとあううすうをせらういと
 うくうく

まき
 うそううとわくうのうううよいま
 はーうう食えうううううううう
 ううううううううううううう
 ありげなれどううううううう
 ううううううううううううう
 ばううううううううううう
 人ううううううううううう
 じうのうはとすううううううう
 ねうせうううううううううう
 ううううううううううううう

まことにとてはせよ。ほんづからまへる
きうきううううあはううはうぐのとせ井
がくわぬてもううす。うううううひうてあ
くくをくくくくくくくくくくくくくく
ううううう行くまで人のいなあくまううう
人のいがくれとく。弘巖^{こうきん}復^{かみ}たくはむゆく
ううのうけうのまくくううううう
ううのれゑ^{れゑ}。うえこくまほりぞつ。う
ううめかねめかねめかねめかねめかね
うううううす。うすうすうすうすうす
を夕^ゆ書^かれはどづねうううのばくづくと

かねてゆきの令姫とうそりまへ
タゞれのむすびとくらむへ
うやうやうめふりとくらむへ
はあみびなとくらむへ
なりけりひづらめふりけよつとくらむへ
ばうるむやのうつるはうをとくらむへ
姫とくらむでつるべとくらむへ
ひづらめゆやめすまなれとくらむへ
づるまくつてうひとくらむへ
ですぐとくらむへ

金海司
まづてはいふうにうなづくはくや
よだんと因侍のそりのそりにまづくと
あれ四ひきともあらねむげよそいや
もあびごうぬれりてやたりひてわ
せきとてすすきとくはゆめのいた
りとやくかみひきと
そよがなとくぐりよすがさわがふ
もととあくべきくよなとおひび
まつりたりやうやのゆかばつる病
けくたむづくとくとくの風



文衣母詞
書

れどもひすゞはうりそうせんとひそじゆ
つ。かみだにまつたるふるのをもようすみやむらうよ。ま
くは涼くはがて。草木の虫のよぐよぐは
がくかくよくもくもくされぬるをめぐらすなり
す。虫のよぐよくもくもくされぬるをめぐらすなり

あらすじ
いづこはのひあげりてうきよを
きる雲のへびとくわづくをといせ
くふくじゆかせんじゆめんじゆくにち
あねがれむれやめんじゆくにちの
うきよけはくひくひくひくひく

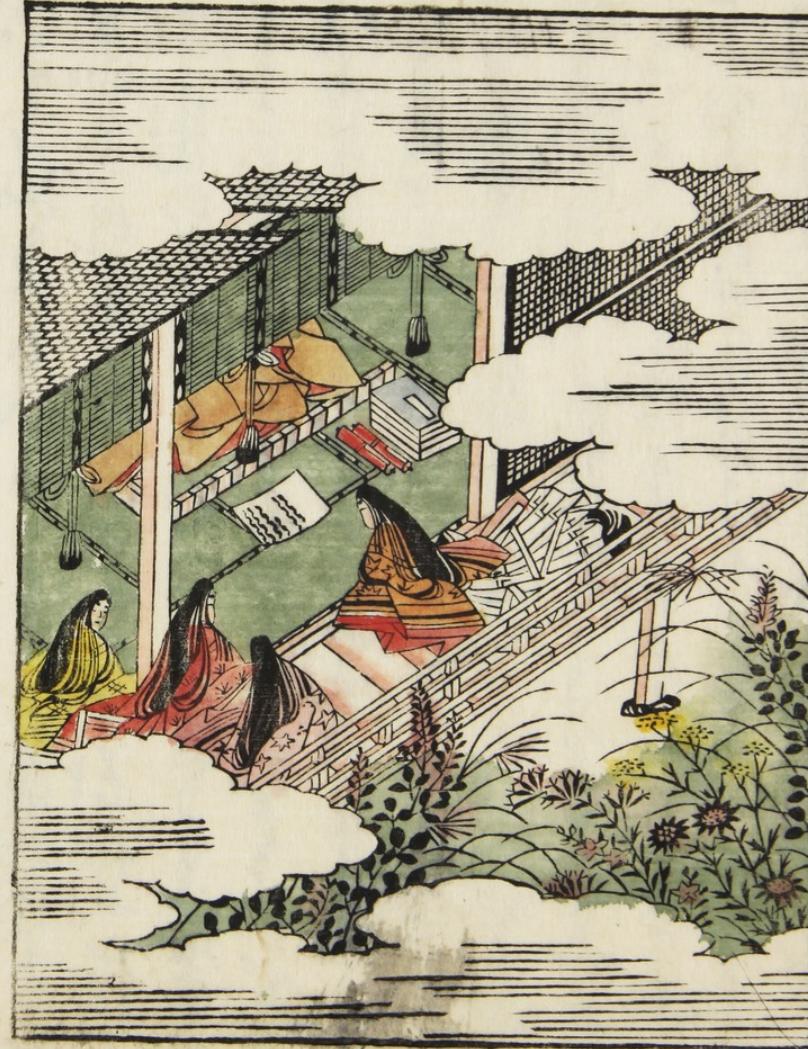
あげのてまくわきへりばらひ

文部書

まくわきへりばらひとおなづかひして

いはりまくわきへりばらひとおなづかひして

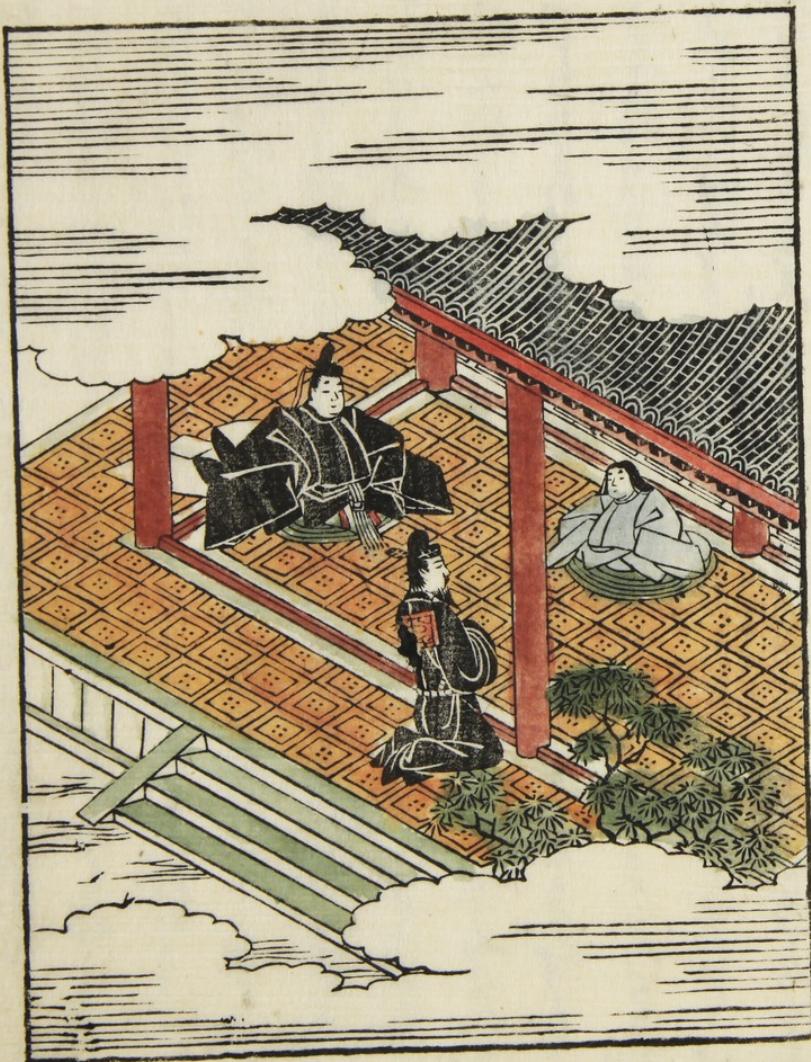
まくわきへりばらひとおなづかひして



17

誰もさうの宿泊^{おとほ}やうつとゆべ
 がほくしてあまおりますかとのつまむよの
 井戸の水^{みず}あゆう^{ゆう}^{ヨリ}よなりゆくべ
 人をあはしておれおもよつやすすよ
 まくらをゆきてかくあたよかまをゆま
 とくあくまどでくばいづよむれゆ
 まくらでくまくせゆみ^みありわれながる
 まくらめ^めあみ^みれぬのくそをだりされを
 きて大床子のぬれをまくらゆくわ
 うれびんのせんまくらゆくわ
 駄馬^{だま}まくらゆくわ
 まくらゆくわ
 とつひにゆくとつひにゆく
 クナキアシ^{アシ}のくわくわくわくわくわく
 まくらゆくわくわくわくわくわくわく
 まくらゆくわくわくわくわくわくわく
 まくらゆくわくわくわくわくわく
 まくらゆくわくわくわくわく
 まくらゆくわくわく
 まくらゆくわく
 まくらゆく

りあはせばうへろこすよ人かくさなせの
 うけひくまきとしなればすくらやうくは
 うて。めふもいざをすくまづなむれとさばり
 いは。
弘徽校
 えみれもがうらからぬまぬれあらわのふ
 うへまじくまくねば一そげとおけすむ
 あよまくやんくねひなーとく
 やうあよきちめばまことれとくひま
 てくうじかくみじいゆううじとたれど
 それまはうもうてゑるまよ。まじれひけ
 びううくまくまくまくまくまくまく
 うくまくまくまくまくまくまくまく
 せよもよもももも
 ちうううううううううう
 うくまくまくまくまくまくまくまく
 弘徽飯にふくわくわくわくわくわく
 えすうううううううううううう
 あくまくまくまくまくまくまくまく
 のうれはえうくまくまくまくまく
 ああはれくまくまくまくまく
 うううううううううううう



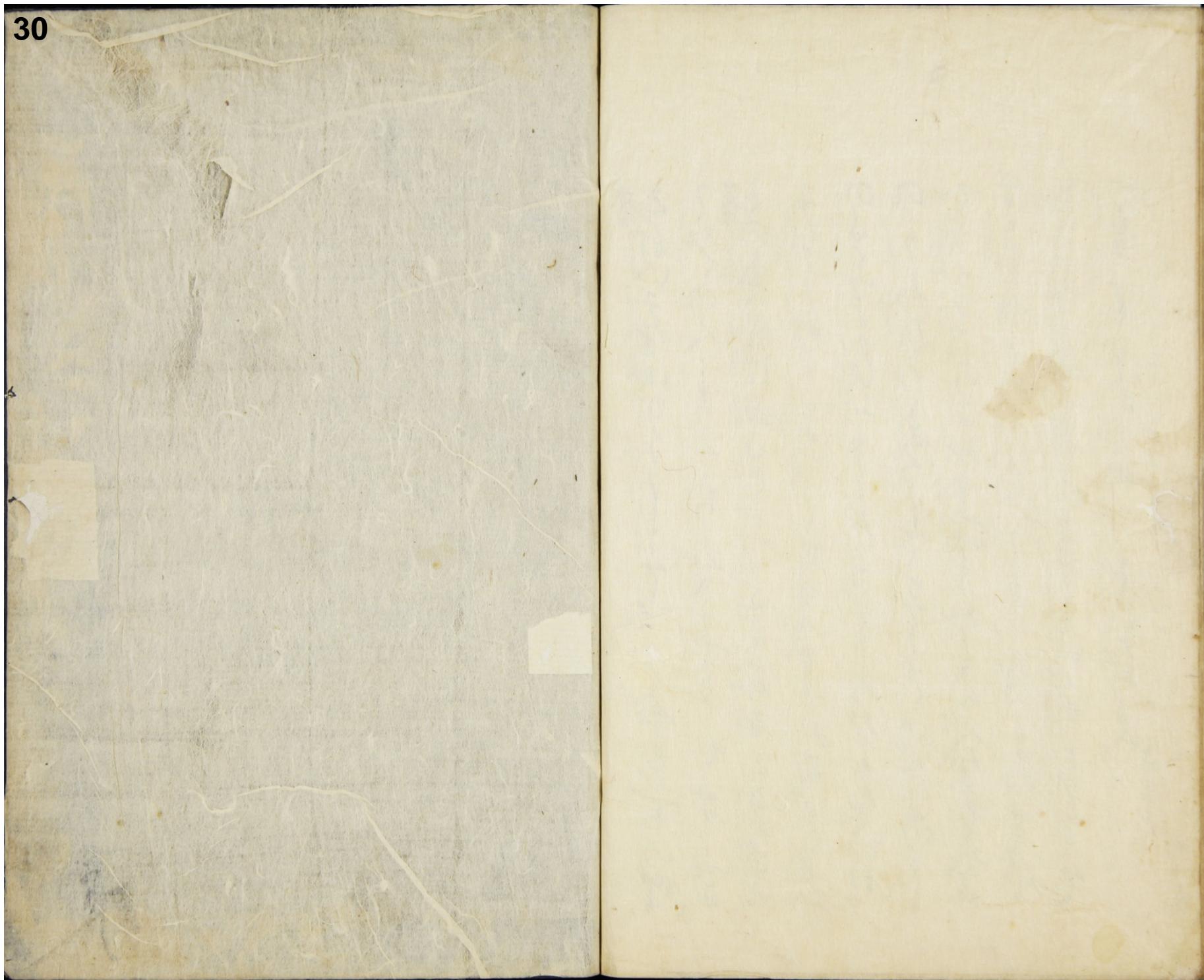
この事の如きうちすぐれりとてはまくらへ
しよははらまにまくづきこまくらへ
をぐるまくぬ内侍のモリケハ先帝御はれの入
もす。御室もまくづきまつりなれりうれい
いそりもくおりまくづきまくづきま
ものはまくづきまつりて。うきぬすりやすむのぬか
まくづきまくづきを。之代のモヤヅベよつてくら
ゆるえくづきまつりぬよまきいのあれハ先
帝もくづきまつりぬよかんとくづき
わりづきまつりぬよかんとくづき

みどりのまゝでえものじあへりすがゆう
ひおりもありつむじのことせうへる
くわくわいとくわくわくわくわくわく
やどりはくわくわくわくわくわくわく
けくげくわくわくわくわくわくわく
よだいわくわくわくわくわくわくわく
葵上 づきよしむすめまくらわけ
あさあさをかねわくわくわくわくわく
葵底 まくらまくらのたんなりたり。内よむかく
まくらせきればくばくばくばくばくばく
りめくらくらくらくらくらくらくらく
た春 かくらくらくらくらくらくらくらくらく



وَلِمَنْدَلْتَهُ وَلِمَنْدَلْتَهُ
وَلِمَنْدَلْتَهُ وَلِمَنْدَلْتَهُ

卷之三



31

